

医 と 社 会

責 任 者	氏 名	小 澤 寛 樹	内 線	2860
	教 室	精神神経学（精神神経科学）	e-mail	ozawa07@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1．授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。また大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても講義する。

またコア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。

臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を住した上での医事法制を学ぶ。

2．授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。

3．教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少ない。必要に応じて各講義で紹介する。

4．成績評価の方法・基準

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。

5．教員名

精神科：中根秀之

第二内科：早田 宏

原研内科：朝長万左男

医療情報部：本多正幸

解剖学：森 望

非常勤：森 俊介（独立行政法人国立病院機構 長崎病院）

非常勤：児島達美（長崎純心大学人文学部教授）

非常勤：永田耕司（活水女子大学教授）

非常勤：浅野直人（福岡大学法学部長）

非常勤：早島 理（滋賀医科大学教授、哲学倫理学）

非常勤：向原茂明（長崎県立島原病院院長）

非常勤：池内 了（早稲田大学総合科学部）

6．備考（準備学習等）

医と社会授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	4	水	4	がん患者の心のケア	精神科・中根	臨1
4	11	水	4	地域医療とターミナルケア（保健学科と共修）	非常勤・森	臨大
4	18	水	4	がん患者へのインフォームドコンセント （保健学科と共修）	非常勤・永田	臨大
4	25	水	4	がん患者への接し方の実際（保健学科と共修）	第2内科・早田	臨大
5	2	水	4	大学病院におけるターミナルケア	原研内科・朝長	臨1
5	9	水	1	がん患者と家族	非常勤・児島	臨1
5	16	水	4	医療リスクマネジメント	非常勤・向原	臨1
5	23	水	4	医療情報におけるITと安全管理	医療情報部・本多	第2
6	6	水	4	医事法制	非常勤・浅野	臨1
6	13	水	4	死生学	非常勤・早島	第2
6	20	水	4	自習	精神科・小澤	臨1
6	27	水	4	医療の比較文化論	精神科・小澤	臨1
7	4	水	4	医療と科学、人間	非常勤・池内	臨1
7	11	水	4	長寿科学と高齢者医療	第1解剖・森	臨1

脳・神経系

責任者	氏名	中村 龍文	内線	2806
	教室	感染分子病態学(病態生理制御学)	e-mail	tatsu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名			

1. 授業のねらい・方法・到達目標

人間の脳・神経系は巧みに構築された高次構造・ネットワークによって機能している。神経疾患は、種々の原因(先天異常・遺伝子異常・感染症・炎症・外傷・血管障害・腫瘍・脱髄・変性・免疫異常など)に基づいたこれらの異常によって生じてくる。脳・神経系は中枢神経・末梢神経・神経筋接合部・筋に分けられるが、それらの場において、多種多様な病因・病態が存在する。脳・神経系の教育目標・方針は、神経学に必要な基礎的領域をもとに、神経疾患をSystematicに学ぶことにある。

2. 授業内容(講義・実習項目)

全57時間のうち、神経内科学24、脳神経外科学15、小児神経学9、整形外科6、精神神経学3時間から、構成されている。まず、神経学総論は、解剖学・生理学などの基礎的知識をもとに全ての神経系を網羅し、主として神経内科学が担当して行われる。加えて小児神経学の立場から、発達神経学の基礎知識の修得、精神神経学より知能についての講義が行われる。更に、神経診断学を含めた神経学的検査法が、神経内科学、脳神経外科学的立場より講義される。神経学各論では、個々の機能的、器質的疾患に関して、神経内科、脳神経外科、小児神経、整形外科、精神神経科学的領域よりそれぞれ講義される。

3. 教科書、参考書等

必要に応じてプリントを配布する。

書名	著者	出版社	定価
神経内科学	第一内科神経グループ		1,000 円
Pediatric Neurology	Swaiman	Mosby	
標準整形外科	広畑和志他	医学書院	8,700 円
ニュースタダード 脳神経外科学	生塩之敬, 種子田護, 山田和雄	三輪書店	7,350 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験。

5. 教員名

先進感染制御学・感染免疫学：中村龍文

第一内科：本村政勝、吉村俊朗(保健学専攻)、辻畑光宏(非常勤講師)

脳神経外科：堤圭介、北川直毅、松尾孝之、牛島隆二郎、馬場啓至(非常勤講師)、栗原正紀(非常勤講師)、田淵和雄(非常勤講師)

小児科：森内浩幸、今村善彦、松坂哲應(非常勤講師)

整形外科：衛藤正雄

精神神経科：小澤寛樹、今村 明

6. 備考(準備学習等)

講義ごとに学習テーマを呈示する。

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	月	3	神経学総論	神経系の構成・神経病の診断 大脳半球の機能局在・高次機能	保健学科・吉村	臨1
			4	神経学総論	間脳、脳神経、脳幹		
4	5	木	4	神経学総論	小脳の機能と障害 脊髄機能・運動麻痺・歩行障害	保健学科・吉村	臨1
4	9	月	3	神経学総論/神経学的検査	大脳基底核と錐体路、感覚障害意識障害・髄膜刺激症状・脳圧亢進症状 神経学的検査	保健学科・吉村	臨1
			4	小児発達総論	神経系の発達と精神運動機能 小児神経学的診察法		
4	12	木	4	急性脳症及びその類縁疾患/先天異常・発育異常	急性脳炎，脳症の診断治療 脳形成異常，神経皮膚症候群	小児科・今村	臨1
4	16	月	3	代謝異常による神経疾患	リソゾーム病 アミノ酸，有機酸代謝異常	小児科・今村	臨1
			4	代謝異常による神経疾患	含水炭素，その他の代謝性疾患		
4	19	木	4	神経学的検査/先天異常・発育障害	神経学的検査 水頭症 その他	脳外科・牛島	臨1
4	23	月	3	脳血管障害	脳血管疾患総論・脳血管疾患病態生理	非常勤・辻畑	臨1
			4	脳血管障害	画像診断・脳血管疾患各論		
4	26	木	4	脳血管障害	虚血性脳血管障害	脳外科・堤	臨1
5	7	月	3	脳血管障害	出血性脳血管障害	非常勤・栗原	臨1
			4	脳血管障害	これからの脳卒中リハビリテーション		
5	10	木	4	頭部外傷	急性期頭部外傷(Ⅰ)・()	脳外科・北川	臨1
5	14	月	3	頭部外傷	急性期頭部外傷()・頭部外傷合併症	脳外科・北川	臨1
			4	脳腫瘍	脳腫瘍総論		
5	17	木	4	脳腫瘍	脳腫瘍各論(Ⅰ)・()・()・()	脳外科・松尾	臨1
5	21	月	3	脳神経外科概論	脳科学と脳外科臨床のかかわり	非常勤・田淵	臨1
			4	てんかん(a)	てんかんの外科的治療		

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	24	木	4	変性疾患	変性疾患総論	第一内科・本村	臨1
5	28	月	1	知能低下	知能の定義・測定法・因子構成 知能低下の諸様相	精神科・小澤	臨1
			2	てんかん(b)	遅発性（非小児期）発症てんかん てんかんと精神症状	精神科・今村	
6	4	月	1	変性疾患	大脳の変性疾患 小脳の変性疾患	第一内科・本村	臨1
			2	変性疾患/中毒	脊髄の変性疾患 農薬 重金属 有機溶媒 薬剤等による中毒		
6	7	木	4	感染症疾患	ウイルス性疾患	感染分子・中村	臨1
6	11	月	3	てんかん(c)	てんかんおよびてんかん症候群分類	非常勤・松坂	臨1
			4	てんかん(d)	小児てんかんの診断治療		
6	14	木	4	感染症疾患	細菌性疾患 その他の感染症	感染分子・中村	臨1
6	18	月	3	脱髄性疾患	脱髄性疾患総論	感染分子・中村	臨1
			4	脱髄性疾患/内科疾患に伴う神経疾患/頭痛/自律神経の疾患	脱髄の病態生理 脱髄性疾患各論 内科疾患に伴う神経疾患頭痛分類 病態生理 頭痛各論 神経痛 自律神経の疾患総論、各論		
6	21	木	4	ミオパチー	ミオパチーの病態生理 電気生理学 ミオパチー疾患 各論	保健学科・吉村	臨1
6	25	月	3	神経筋接合部疾患	神経筋接合部構造と機能 電気生理学 各論	非常勤・辻畑	臨1
			4	末梢神経(a)	末梢神経障害の病態生理 電気生理学 末梢神経疾患 各論	保健学科・吉村	
6	28	木	4	脊椎・脊髄疾患	脊髄の生理・解剖	整形外科・衛藤	臨1
7	5	木	4	脊椎・脊髄疾患	頸椎，頸髄疾患 胸椎，胸髄疾患	整形外科・衛藤	臨1
7	12	木	4	脊椎・脊髄疾患	筋疾患，麻痺性疾患の診断と治療 末梢神経の解剖，生理とその診断治療	整形外科・衛藤	臨1
7	19	木	4	筋疾患・麻痺性疾患/末梢神経(b)	腰椎疾患	整形外科・衛藤	臨1

運 動 系

責 任 者	氏 名	進 藤 裕 幸	内 線	2940
	教 室	整形外科 (構造病態整形外科学)	e-mail	shindo@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスワ-	17:00~18:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	
英語名	Musculo-skeletal system, lecture		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

四肢、脊椎、顔面等の運動器では、炎症、変性、腫瘍、外傷、先天異常、代謝疾患、血行障害など数多くの疾患が生じる可能性を含んでいる。これらの疾患を理解するためには、骨・関節系統のみならず神経・筋系統の広範な領域にわたる正常の機能を把握する必要がある。これらの疾患の治療目的は、生命の維持と疾患の予防ならびに機能確保・機能再建である。

学生諸君には運動器疾患の基礎として骨・関節・筋・神経の生理・代謝・構造の理解を求める。次に種々の検査法を含めた診断学、さらに治療学の概略ならびに各部位別の疾患とその治療法につき理解を求める。また急性疾患では適切な救急処置が出来るよう教育する。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

主にプリントとスライドによる講義である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準整形外科学	寺山和雄、広畑和志	医学書院	9,660 円
整形外科サブノ-ト	東 博彦	南江堂	5,500 円
標準形成外科学 第4版	鬼塚卓彌 監修	医学書院	6,800 円
TEXT 形成外科学 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	6,300 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験

(出席日数を考慮する)

5. 教員名

整形外科：進藤裕幸、衛藤正雄、弦本敏行、熊谷謙治、馬場秀夫、榎本寛、

岡野邦彦、米倉暁彦

形成外科：平野明喜、安楽邦明

保健学科：松坂誠應

6. 備考 (準備学習等)

解剖学、生理学、生化学等の基礎的知識を整理しておくこと。

運動系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	月	1	整形外科総論	総論、歴史	整形・進藤	臨1
			2		診断学		
4	9	月	1	骨・軟骨の生理	骨・軟骨の生理と代謝異常	整形・榎本	臨1
			2	下肢疾患（1）	股関節（成人）（1）	整形・岡野	
4	16	月	1	炎症性疾患	関節リウマチ	整形・弦本	臨1
			2		リウマチ類似疾患		
4	23	月	1	下肢疾患（2）	股関節（成人）（2）	整形・岡野	臨1
			2		股関節（小児）	整形・榎本	
5	7	月	1	形成外科	顔面外傷	形成・平野	臨1
			2		手の外傷	形成・安楽	
5	14	月	1	下肢疾患（3）	膝・足	整形・米倉	臨1
5	21	月	1	感染症	骨・関節の感染症	整形・弦本	臨1
5	28	月	3	脊椎（1）	総論	整形・馬場	臨1
			4		外傷		
6	4	月	3	脊椎（2）	各論（1）	整形・馬場	臨1
			4		各論（2）		
6	6	水	3	骨軟部腫瘍（1）	診断学	整形・熊谷	臨1
6	11	月	1	骨関節の外傷（1）	下肢の外傷	整形・米倉	臨1
6	13	水	3	骨軟部腫瘍（2）	良性腫瘍	整形・熊谷	臨1
6	18	月	1	骨軟部腫瘍（3）	悪性腫瘍	整形・熊谷	臨1
6	20	水	3	リハビリ（1）	リハビリ（総論）	保健学科・松坂	臨1
6	25	月	1	リハビリ（2）	リハビリ（各論）	保健学科・松坂	臨1
			2				
6	27	水	3	骨関節の外傷（2）	上肢の外傷	整形・衛藤	臨1
7	4	水	3	上肢疾患（1）	肩	整形・衛藤	臨1
7	11	水	3	上肢疾患（2）	肘・手	整形・衛藤	臨1

消化器系

責任者	氏名	関根 一郎	内線	2330
	教室	原研病理(分子病態解析学)	e-mail	sekine@nagasaki-u.ac.jp
	曜日	木曜日 午後1時～5時		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Digestive disease		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容(講義・実習項目)

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
1. 消化器病(胃・腸・食道) 分子から病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄	編 羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管2	矢崎義雄	編 Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻: 食道・胃・十二指腸 第2巻: 小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘	編 文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第3版	石川栄世 牛島 宥 遠城寺宗知	編 文光堂	28,000 円
5. 内科学書(全2冊)	島田 馨	編 中山書店	25,000 円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答試験と病理実習試験をもって行う。筆答試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：関根
第一内科：中尾、市川
第二内科：水田、大曲
光学医療診療部：宿輪
第一外科：安武、澤井
第二外科：田島、黒木、江口
熱帯医学研究所：鳥山 寛、平山壽哉
非常勤講師：大槻 眞

6. 備考(準備学習等)

出欠チェックはコマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	火	3	癌取り扱い規約	食道・胃	原病・関根	臨1
			4	上部消化管 - 症候	腹痛など	内2・水田	
4	6	金	4	上部消化管 - 構造機能	食道・胃	内2・水田	臨1
4	10	火	3	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など	光学・宿輪	臨1
			4	下部消化管 構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など		
4	13	金	4	ヘリコバクターピロリ	HPと胃炎、潰瘍（特別講義）	熱病・平山	臨1
4	17	火	3	消化管ホルモン	消化管ホルモン、潰瘍、胃炎など	内2・水田	臨1
			4	胃疾患	腫瘍性病変、ポリープ、憩室、感染性疾患など		
4	18	水	3	胃疾患、十二指腸疾患	潰瘍、腫瘍、炎症など	内2・水田	臨1
4	20	金	4	下部消化管-症候論	下血、便通異常、脂肪便など	光学・宿輪	臨1
4	24	火	3	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症	光学・宿輪	臨1
			4	大腸（救急疾患）	血管閉塞、腸閉塞など		
4	27	金	4	大腸疾患（炎症）	炎症性腸疾患（IBD）、虚血性腸炎、腸型ペチエット病など	光学・宿輪	臨1
5	1	火	3	大腸疾患（炎症）	感染症腸疾患、憩室放射線照射性腸炎、MPSなど	光学・宿輪	臨1
			4	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポーシス、癌、カルチノイド腫瘍など		
5	8	火	3	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポーシス、癌、カルチノイド腫瘍など	光学・宿輪	臨1
			4	全身疾患と消化管	SLE、アミロイドーシス、膠原病など		
5	11	金	4	消化管の内視鏡検査と治療	消化管の内視鏡検査と治療	光学・宿輪	臨1
5	15	火	3	消化管癌の集学的治療	PDT、化学放射線療法	光学・宿輪	臨1
			4	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など		
5	18	金	3	食道・胃・十二指腸手術術式	食道損傷など 食道	外1・安武	臨1
5	22	火	3	食道・胃・十二指腸手術術式	胃・十二指腸	外1・安武	臨1
			4	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外1・澤井	
5	25	金	4	腹壁疾患 直腸・肛門の疾患	外傷など	外1・澤井	臨1
6	1	金	4	癌取り扱い規約	大腸	原病・関根	臨1
6	5	火	3	肝	正常組織・生理機能・先天異常など	内1・中尾	臨1
			4		病態生理		

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	8	金	4	肝	検査	内1・中尾	臨1
6	12	火	3	肝	代謝性疾患など	内1・中尾	臨1
			4		肝炎など		
6	15	金	4	肝	主要症候	内1・市川	臨1
6	19	火	3	肝	良性腫瘍など	内2・大曲	臨1
			4		膿瘍 寄生虫など		
6	22	金	4	肝	肝硬変症	内1・市川	臨1
6	26	火	3	病理の要点	肝胆膵	熱病・鳥山	臨1
			4	肝	肝癌など	内1・市川	
6	29	金	4	膵	膵臓など	内2・水田	臨1
7	3	火	3	膵	膵炎・膵癌など（特別講義）	産業・大槻	臨1
			4	胆道疾患	炎症・結石	内2・水田	
7	6	金	4	胆道・膵疾患 胆嚢	胆石・胆道癌 胆嚢、胆道、膵炎、膵癌	内2・水田	臨1
7	10	火	3	主要症候と検査 - 胆膵疾患	黄疸など	内2・大曲	臨1
			4	外科的疾患	肝	外2・江口	
7	13	金	4	外科的疾患	膵臓の手術術式など	外2・田島	臨1
7	17	火	3	外科的疾患	肝・胆道系	外2・黒木	臨1
			4		胆道系		
7	20	金	4	膵	内分泌腫瘍	外2・田島	臨1

腎 泌 尿 器 系

責任者	氏名	金 武 洋	内 線	2980
	教室	腎泌尿器病態学（泌尿器科学）	e-mail	hk1853@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:00～17:00（火曜日）泌尿器科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Nephro-urology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：腎尿路の構造と機能の正しい理解が、疾患を学習する上で必要であり、解剖、生理、病理学的知識を踏まえて各種疾患の病因・病態や臨床的事項の理解度をアップさせる。その上で疾患の診断や治療法の基本を正しく理解する。

到達目標：腎・尿路系の疾患の病因、病態の正確な把握と、疾患の臨床像、診断や治療法の正しい理解を目標とする。目標の達成により、5年の病棟実習での予備知識が増し、更に幅広い知識の習得へとつながる。代表的な疾患の診断と治療法について説明ができる。代表的症候より鑑別診断を上げることができる。代表的手術法について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

毎週火曜日の午前中に講義する。まず、腎の解剖、生理について、腎疾患を学ぶ上で特に大切な点を総括し、その上で、臨床系の講義ではまず内科的疾患、小児的疾患、それから泌尿器科的疾患を講義する。

この系で学ぶ主要な項目は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧や血管に関連した病変、全身性疾患の標的臓器としての腎病変、小児の腎疾患の特徴、更に、腎の泌尿器科的疾患や尿管、膀胱などの尿路系の疾患等である。時間の関係で、系の中で講義できない事項もあるが、それらについては自ら学習する態度が望まれる。また、重複する項目がないように配慮されるが、重要な点については各科の立場から反復して講義され、理解を深めるようにした。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディスン6巻	下条文武・斉藤康	西村書店	3,800 円
新泌尿器科学（第4版）	内藤誠二 編	南山堂	8,700 円
Renal disease:classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glassock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
研修医のための小児腎疾患の臨床	五十嵐隆 著	診断と治療社	5,800円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7,600円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査100% 到達目標に上げた代表的疾患についての理解を問う。前期末の講義終了後に、筆記試験を行う。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40%に満たないときには不合格となることもある。

5. 教員名

内臓機能生理学（第1生理）：相川忠臣

病態生理制御学（第2内科）：古巢 朗、宮崎正信（非常勤講師）

血液浄化療法部：原田孝司

感染病態制御学（小児科）：森内浩幸 救急部：中嶋一寿

腎泌尿器病態学（泌尿器科）：酒井英樹、錦戸雅春、野口 満、古賀成彦（非常勤講師）、

野俣浩一郎（非常勤講師）

6. 備考（準備学習等）

腎・尿路系の解剖、生理、病理学について復習しておくこと。

腎泌尿器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	火	1	腎臓と体液	腎臓の機能	生理1・相川	臨1
			2		電解質代謝と腎臓		
4	10	火	1	内科的腎疾患	臨床総論；腎疾患の主要症候	血液浄化・原田	臨1
			2		腎間質障害・循環障害・感染	内科2・古巣	
4	17	火	1	内科的腎疾患	糸球体腎炎	内科2・古巣	臨1
			2		糸球体腎炎		
4	24	火	1	内科的腎疾患	ネフローゼ症候群（含2次性腎症）	内科2・古巣	臨1
			2		ネフローゼ症候群（含2次性腎症）		
5	1	火	1	内科的腎疾患	腎不全	血液浄化・原田	臨1
			2		腎不全		
5	8	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（検尿異常）	非常勤・宮崎	臨1
			2		腎疾患のとらえかた（腎機能障害）		
5	15	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（恒常性の破綻）	内科2・古巣	臨1
			2	泌尿器科疾患	泌尿器科総論1	泌尿器科・酒井	
5	22	火	1	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科・森内（中嶋）	臨1
			2		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		
6	5	火	1	泌尿器科疾患	泌尿器科総論2	非常勤・古賀	臨1
			2		腎腫瘍、外傷		
6	12	火	1	泌尿器科疾患	腎血管性病変、急性腎不全	泌尿器科・錦戸	臨1
			2		腎移植		
6	19	火	1	泌尿器科疾患	膀胱疾患、尿路上皮腫瘍	非常勤・野俣	臨1
			2		尿路結石		
6	26	火	1	泌尿器科疾患	排尿障害（1）	泌尿器科・野口	臨1
			2		排尿障害（2）		
7	3	火	1	泌尿器科疾患	小児泌尿器疾患	泌尿器科・野口	臨1
			2		炎症、その他	泌尿器科・酒井	

生 殖 系

責任者	氏 名	増 崎 英 明	内 線	3062
	教 室	生殖病態生理学(産婦人科)	e-mail	bunbuku@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスワ-	月～金 17:00～17:30		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Reproductive System		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

(ねらい) 男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に理解するのがねらいである。

(到達目標) 男性生殖器、女性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立のしくみ、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠・胎児・分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠・分娩について説明できる。主な女性生殖器疾患について説明できる。

2. 授業内容(講義・実習項目)

講義時間は61.5時間(41コマ)であり、その内訳は、第三解剖1.5時間(1コマ)、泌尿器科4.5時間(3コマ)および産婦人科55.5時間(37コマ)である。

3. 教科書、参考書等

	著 者	出版社	定 価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
新泌尿器科学	内藤成二	南山堂	8,700 円
NEW産婦人科学	矢嶋 聡 他編	南江堂	9,500 円
臨床産科超音波診断	増崎英明	メディカ出版	4,700 円

4. 成績評価の方法・基準

出席点および筆記試験により評価する。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。原則として60%以上の得点をもって合格とする。

5. 教員名

第三解剖 : 小路武彦

泌尿器科 : 酒井英樹

産婦人科 : 増崎英明、中山大介、三浦清徳、小寺宏平、森山伸吾、井上統夫、平木宏一、吉田 敦、北島道夫、カレク・カーン

保健学科 : 中島久良

非常勤講師 : 石丸忠之(佐世保中央病院) 村上 誠(佐世保市立総合病院)
 安日一郎(長崎医療センター) 河野雅洋(田中クリニック)
 藤下 晃(長崎市立市民病院) 宮村庸剛(産婦人科 宮村病院)
 福田久信(健康保険諫早総合病院) 宮本正史(湊レディースクリニック)
 宮村泰豪(みやむら女性のクリニック) 江口二郎(エキサイ会長崎病院)

6. 備考(準備学習等)

とくになし。

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	水	1	性分化と性器の発生	性器の発生、性分化異常	解剖3・小路	臨1
			2	女性性器の構造	女性性器の構造 / 産婦人科診察	産婦人科・森山・増崎	臨1
4	6	金	3	イントロダクション	生殖系授業のはじめに	産婦人科・増崎	臨1
4	11	水	1	男性生殖器の疾患 (1)	前立腺癌 / 前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	臨1
			2	男性生殖器の疾患 (2)	精巣腫瘍 / 陰茎腫瘍	泌尿器科・酒井	臨1
4	13	金	3	男性不妊症	性分化異常 / 男性不妊症	泌尿器科・江口	臨1
4	18	水	1	女性性器の異常	形態異常 / 位置異常 / 損傷と瘻	非常勤・藤下	臨1
			2	女性の性機能	性機能系のホルモン / 視床下部-下垂体-卵巣系 / 性器の周期的変化	非常勤・藤下	臨1
4	20	金	3	月経	月経とその異常 / 無月経 / 多嚢胞卵巣症候群 (PCO) / 機能性子宮出血 / 避妊	非常勤・河野	臨1
4	25	水	1	不妊	不妊症	非常勤・宮村 (Y)	臨1
			2	外陰・膣の疾患(1)	外陰・膣の炎症 / 性感染症 / 骨盤内炎症性疾患 (PID)	非常勤・宮村 (Y)	臨1
4	27	金	3	外陰・膣の疾患(2)	外陰癌 / 膣癌	非常勤・村上	臨1
5	2	水	1	子宮の疾患 (1)	子宮筋腫 / 子宮内膜症 / 子宮腺筋症	産婦人科・カーン・増崎	臨1
			2	子宮の疾患 (2)	子宮頸管ポリープ / 子宮頸癌	保健学科・中島	臨1
5	9	水	2	子宮の疾患 (3)	子宮内膜ポリープ / 子宮内膜増殖症 / 子宮体癌 (子宮内膜癌) / 子宮肉腫	産婦人科・小寺・増崎	臨1
			4	卵巣・卵管の疾患 (1)	卵巣腫瘍・類腫瘍病変・多嚢胞性卵巣症候群 (PCO) / 卵管癌	産婦人科・森山・増崎	臨1
5	11	金	3	卵巣・卵管の疾患 (2)		産婦人科・森山・増崎	臨1
5	16	水	1	婦人科手術	婦人科手術の種類とその特徴	産婦人科・平木・増崎	臨1
			2	妊娠の生理 (1)	受精と着床 / 胚形成と胎盤形成	非常勤・宮村 (Y)	臨1
5	18	金	4	加齢と疾患	更年期障害 / 老年期障害	非常勤・石丸	臨1
5	23	水	1	妊娠の生理 (2)	胎児の発育 / 胎児-胎盤系の生理 / 妊娠による母体の変化	非常勤・安日	臨1
			2	妊娠の管理	妊娠の診断 / 妊婦健康診査 / ハイリスク妊娠のスクリーニング / 妊娠中の検査	非常勤・宮本	臨1
5	25	金	3	正常分娩 (1)	分娩の概念 / 陣痛初来機序 / 分娩の3要素	産婦人科・井上・増崎	臨1

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	8	金	3	産科処置	産科手術 / 分娩誘発・促進 / 産科麻酔	非常勤・宮本	臨1
6	13	水	1	正常分娩（3）	産褥期 / 新生児	産婦人科・北島・増崎	臨1
			2	妊娠の異常（1）	妊娠中の高血圧	産婦人科・平木・増崎	臨1
6	15	金	3	妊娠の異常（2）	産科出血 / 産科ショックとDIC	非常勤・福田	臨1
6	20	水	1	妊娠の異常（3）	胎児発育遅延（IUGR）	非常勤・宮村（T）	臨1
			2	妊娠の異常（4）	多胎妊娠	産婦人科・三浦	臨1
6	22	金	3	妊娠の異常（5）	早産と前期破水	非常勤・福田	臨1
6	27	水	1	妊娠の異常（6）	羊水過多症 / 羊水過少症 / 胎盤・臍帯の異常	非常勤・宮村（T）	臨1
			2	妊娠の異常（7）	絨毛性疾患	産婦人科・小寺・増崎	臨1
6	29	金	3	妊娠の異常（8）	妊娠と感染 / 周産期感染症	非常勤・福田	臨1
7	4	水	1	妊娠の異常（9）	妊娠悪阻 / 流産 / 不育症 / 子宮外妊娠	非常勤・藤下	臨1
			2	先天異常（1）	先天異常 / 遺伝 / 子宮内環境	産婦人科・三浦	臨1
7	6	金	3	先天異常（2）	出生前診断 / 胎児治療	産婦人科・三浦	臨1
7	13	金	3	合併症妊娠（1）	婦人科 / 心血管 / 血液 / 腎・泌尿器 / 消化器 / 呼吸器疾患	産婦人科・中山	臨1
7	20	金	3	合併症妊娠（2）	内分泌・代謝 / 自己免疫 / 精神神経疾患	産婦人科・中山	臨1

視 覚 系

責 任 者	氏 名	北 岡 隆	内 線	3000
	教 室	眼科学 (眼科・視覚科学)	e-mail	tkitaoka@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	月曜日 18:00-19:00 眼科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Ophthalmology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外界からの情報の80%以上は視覚を通して入力される。この視覚を得るための眼球他の構造と機能を学習し、さらにその視覚を脅かす疾患について理解させる。また眼科独自の検査についても学習する。

医師として必要な眼科領域の知識・技能の習得および全身疾患と眼の関連について十分な学習をすることを目標とする。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

基礎医学の知識を駆使して、眼科学を体系づけ、他臓器疾患との関連性をも理解させる。思考過程を重視し、考える講義にする。実習では講義で学んだ事項を身をもって体験させ、単なる知識の修得に終わらせないようにする。スライドおよび実際の眼科診療機材を提示し、視覚的アプローチを重視した講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
General Ophthalmology. 16th Ed.	Vaughan, Asbury, Tabbara	Appleton & Lange San Mateo, CA	
Ophthalmology: Principles and Concepts 8th Ed.	Newell, F. W.	Mosby	
Adler's Physiology of the Eye. Clinical Application 10th Ed.	Hart, W. M.	Mosby	

4. 成績評価の方法・基準

試験80%、出席20%で評価し、60点以上を合格とする。

5. 教員名

眼 科 学：北岡 隆、三島一晃、隈上武志、山田浩喜、岸川泰宏

非常勤講師：山之内宏一 (思案橋ツダ眼科)、麻生順子 (三菱病院)、

今村直樹 (南長崎ツダ眼科)、宮村紀毅 (国立病院長崎医療センター)

6. 備考 (準備学習等)

第一回目の講義には、眼球および付属器に関して、高校レベルの生物の知識をもって授業に臨むこと。

視覚系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	2	月	1	眼科総論	眼の構造・機能	眼科・北岡	臨1
			2	眼科総論	眼科検査	眼科・北岡	臨1
			3	眼科総論	眼科検査	眼科・北岡	臨1
			4	前眼部	眼瞼・結膜・涙道	非常勤・宮村	臨1
7	5	木	1	前眼部	角膜・涙液	非常勤・今村	臨1
			2	中間透光体	水晶体	眼科・岸川	臨1
7	9	月	1	発生	発生・奇形	眼科・山田	臨1
			2	網膜	網膜疾患	眼科・北岡	臨1
			3	ぶどう膜	ぶどう膜炎	眼科・山田	臨1
			4	眼底	網膜循環障害	眼科・隈上	臨1
7	10	火	1	眼科総論	眼科症候学	非常勤・麻生	臨1
			2	網膜	網膜疾患	非常勤・宮村	臨1
7	12	木	1	眼底	黄斑疾患	眼科・北岡	臨1
			2	全身疾患と眼	糖尿病網膜症	眼科・隈上	臨1
7	17	火	1	遺伝	全身疾患・遺伝と眼疾患	眼科・山田	臨1
			2	緑内障	緑内障	非常勤・嵩	臨1
7	18	水	1	救急	眼科救急と外傷	眼科・山田	臨1
			2	緑内障	緑内障	眼科・隈上	臨1
			3	発達・眼位	斜視・弱視	眼科・岸川	臨1
			4	リハビリテーション	ロービジョンケア	非常勤・山之内	臨1
7	19	木	1	眼窩・神経眼科	眼窩・神経眼科	眼科・隈上	臨1
			2	神経眼科	神経眼科	眼科・隈上	臨1

耳 鼻 咽 喉 口 腔 系

責任者	氏名	高橋晴雄	内線	3023
	教室	耳鼻咽喉科学(耳鼻咽喉病態制御学)	e-mail	htak0831@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	19時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

感覚器を中心とした耳鼻咽喉科領域の基礎を学び、検査、診断、治療法を理解し、検査法については実習し修得する。また救急処置の基本を学び、併せて全身ないしは環境と耳鼻咽喉科領域の関連について学習をする。

2. 授業内容(講義・実習項目)

講義は4年次前期より始まる。耳科学・聴覚学・平衡神経学・鼻科学・口腔・咽頭学・喉頭学・頭頸部外科学・救急医学に分類される。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	神崎 仁 他	南江堂	8,500円
新耳鼻咽喉科学	切替一郎、野村恭也	南江堂	16,000円
New 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	喜多村健、森山 寛	南江堂	6,000円
標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	鈴木淳一 他	医学書院	8,000円

4. 成績評価の方法・基準

講義内容については筆記試験にて60点以上を合格とする。
実習は出欠をとり、出席状況が卒業試験の採点に反映される。

5. 教員名

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、隈上秀高、崎浜教之、高崎賢治、田中藤信、高野 篤
福田智美、吉田晴郎
非常勤講師：和田 仁、江上徹也、重野浩一郎、吉見龍一郎、神田幸彦
安達朝幸

6. 備考(準備学習等)

解剖・生理を復習しておく。

耳鼻咽喉口腔系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	木	1	耳科学	聴器の解剖・生理	耳鼻科・高橋	臨1
			2	聴覚学	聴力検査	耳鼻科・田中	
4	12	木	1	耳科学	中耳・内耳の疾患	耳鼻科・福田	臨1
			2		中耳炎の手術	耳鼻科・高橋	
4	19	木	1	耳科学	聴器の先天異常	耳鼻科・高橋	臨1
			2		顔面神経	耳鼻科・吉田	
4	26	木	1	平衡神経学	めまい総論	非常勤・江上	臨1
			2		めまいの診断・平衡機能検査	非常勤・重野	
5	10	木	1	鼻科学	アレルギー性鼻炎	非常勤・吉見	臨1
			2	平衡神経学	めまい疾患各論	耳鼻科・隈上	
5	17	木	1	口腔・咽頭学	口腔・咽頭の解剖・生理と疾患	耳鼻科・高野	臨1
			2	救急医学	気道・食道異物・気管切開	耳鼻科・高野	
5	24	木	1	喉頭学	喉頭の解剖・生理と疾患	耳鼻科・隈上	臨1
			2	口腔・咽頭学	嚥下の生理と障害	非常勤・安達	
6	7	木	1	頭頸部外科学	頭頸部癌（1）	耳鼻科・崎浜	臨1
			2		頭頸部癌（2）	耳鼻科・崎浜	
6	14	木	1	聴覚学	中耳・内耳のメカニクス	非常勤・和田	臨1
			2	耳科学	補聴器と人工内耳	非常勤・神田	
6	21	木	1	鼻科学	鼻・副鼻腔の解剖と生理	耳鼻科・高崎	臨1
			2		鼻・副鼻腔疾患各論	耳鼻科・高崎	
6	28	木	1	頭頸部外科学	側頭骨・頭蓋底（1）	耳鼻科・崎浜	臨1
			2		側頭骨・頭蓋底（2）	耳鼻科・隈上	

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏名	江口 勝美	内線	2800
	教室	病態解析・制御学(第一内科)	e-mail	eguchi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	金曜日午後 教授室		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および治療について病態を把握しながら学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変についても授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとシラバス）

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版者	定価
シラバス	講義担当者		
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の点数 60%以上で合格とする。

5. 教員名

第一内科 : 江口勝美、川上 純、 井田弘明

保健学科 : 折口智樹

第二内科 : 古巣朗、迎 寛

皮膚科 : 竹中 基

非常勤講師 : 福田孝昭（久留米大学医学部教授）

河部庸次郎（国立病院機構嬉野医療センター・副院長）

右田清志（国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター 部長）

6. 備考（準備学習等）

シラバスに目を通しておくこと。

免疫・アレルギー疾患系講義予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	金	2	総論1	自己免疫、アレルギー総論	第一内科 井田	臨1
4	13	金	2	総論2	膠原病、アレルギー疾患の主要徴候、臨床検査	非常勤講師 右田	臨1
4	20	金	2	各論1	全身性エリテマトーデス	第一内科 川上	臨1
4	27	金	2	各論2	強皮症、シェーグレン症候群	非常勤講師 河部	臨1
5	11	金	2	各論3	多発性筋炎 / 皮膚筋炎、混合性結合組織病	第一内科 川上	臨1
5	18	金	2	各論4	関節リウマチの病態	非常勤講師 福田	臨1
5	25	金	2	各論5	関節リウマチの治療、成人発症ステイル病	保健学科 折口	臨1
6	1	金	2	各論6	血管炎症候群	保健学科 折口	臨1
6	8	金	2	各論7	血清反応陰性脊椎関節症、ベーチェット病	非常勤講師 右田	臨1
6	15	金	2	各論8	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科 井田	臨1
6	22	金	2	皮膚アレルギー	皮膚アレルギー	皮膚科 竹中	臨1
6	29	金	2	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科 古巣	臨1
7	6	金	2	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科 迎	臨1
7	13	金	2	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科 井田	臨1
7	20	金	2	リウマチ性疾患の病因	リウマチ性疾患の病因：素因と環境因子	第一内科 川上	臨1

社 会 医 学

責任者	氏名	青柳 潔	内線	2232
	教室	公衆衛生学(公衆衛生学)	e-mail	kiyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	月・火・水の12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・前後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	5
英語名	Medical Care & Public Health		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：この科目は衛生学及び公衆衛生学を主体とした社会医学に関する教育を体系化したものである。人間が生物的・社会的存在であるとの理解の上に、その健康擁護(Health Care)を図るのが社会医学の基本的立場である。本科目の講義・実習を通じて人々の健康像・疾病像が生活環境や保健医療システムに大きく関わっていること、および地域あるいは職域の保健医療等について学ぶ。

到達目標：社会・環境と健康、疫学と予防医学、生活習慣と疾病、保健・医療・福祉と介護の制度、診療情報、臨床研究と医療を説明できる。

2. 授業内容(講義・実習項目)

講義及び実習を行う。講義は4年前後期に行われる。実習は5年期の臨床実習期間内に離島において行う。

3. 教科書

特に指定しない。必要に応じプリントを配布する。

4. 参考書

書名	著者	出版社
<ul style="list-style-type: none"> シンプル衛生公衆衛生学 臨床疫学 EBM実践のための必須知識 厚生指標「国民衛生の動向」 	鈴木庄亮、久道茂編 福井次矢 監訳 厚生統計協会	南江堂 メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1999.

5. 成績評価の方法・基準

2/3(34コマ)の出席は必須とし、残り1/3(18コマ)に全部出席すれば18点を与える(1コマ1点)。100-18=82満点で、4年後期試験期間に筆答試験を行う。出席点と筆答試験点の合計が60点以上を講義分の合格とする。

6. 教員名

公衆衛生学：青柳潔、高村昇、安部恵代

熱帯感染症研究センター：本田純久

精神病態制御学：中根秀之

感染・分子疫学：中込治

救急部：長谷敦子

薬剤部：佐々木均

医療情報部：本多正幸

離島・へき地医療学：前田隆浩

非常勤講師：白濱敏、草野洋介、有澤孝吉、神代雅晴、山崎晋一朗、上田厚、和泉喬、今井秀樹

7. 備考(準備学習等)

授業項目について教科書を読んでおくこと。

社会医学授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	木	3	社会医学序論	健康と社会環境、障害と社会	公衆衛生・青柳	臨1
4	12	木	3	社会医学総論	公衆衛生と予防医学	公衆衛生・青柳	臨1
4	19	木	3	社会医学総論	プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション	公衆衛生・青柳	臨1
4	26	木	3	健康保持・増進	健康日本21、健康増進法	公衆衛生・高村	臨1
5	2	水	3	健康保持・増進	生活習慣病と保健	公衆衛生・安部	臨1
5	9	水	3	保健・医療・福祉	医療法、医療計画・へき地医療	公衆衛生・青柳	臨1
5	10	木	3	地域保健	離島医療	離島・へき地医療学・前田	臨1
5	17	木	3	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉の連携	公衆衛生・青柳	臨1
5	24	木	3	保健・医療・福祉	老人の現状	非常勤・草野	臨1
6	7	木	3	保健・医療・福祉	老人保健・福祉、介護保険	非常勤・草野	臨1
6	14	木	3	疫学	序論、疫学指標	感染症センター・本田	臨1
6	21	木	3	疫学	標本抽出、研究デザイン、比較の指標	感染症センター・本田	臨1
6	28	木	3	疫学	Evidence Based Medicine (EBM)	感染症センター・本田	臨1
7	5	木	3	衛生統計	人口統計	感染症センター・本田	臨1
7	12	木	3	衛生統計	要因別死亡の状況	感染症センター・本田	臨1
7	19	木	3	衛生統計	疾病・障害統計	感染症センター・本田	臨1

社会医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	1	月	1	産業保健	労働衛生行政	公衆衛生・青柳	臨1
			2	産業保健	労災法、労災の疫学	公衆衛生・青柳	
10	15	月	1	産業保健	職業癌、頸肩腕障害、腰痛、VDT	公衆衛生・安部	臨1
			2	産業保健	人間工学	非常勤・神代	
10	22	月	1	中毒・物理的要因	ガス中毒・酸欠、有機溶剤・化学物質中毒	非常勤・和泉	臨1
			2	中毒・物理的要因	騒音と振動、異常気圧・気温	公衆衛生・安部	
10	29	月	1	中毒・物理的要因	重金属中毒	公衆衛生・高村	臨1
			2	中毒・物理的要因	薬物中毒	薬剤部・佐々木	
11	5	月	1	中毒・物理的要因	農薬中毒・自然毒	救急部・長谷	臨1
			2	中毒・物理的要因	中毒治療	救急部・長谷	
11	12	月	1	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	臨1
			2	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	
11	19	月	1	国際保健	国際保健問題	公衆衛生・高村	臨1
			2	国際保健	国際保健協力	公衆衛生・高村	
11	26	月	1	地域保健	母子保健	公衆衛生・高村	臨1
			2	地域保健	母子保健	公衆衛生・高村	
12	3	月	1	地域保健	地域保健法	公衆衛生・安部	臨1
			2	地域保健	老人保健法	公衆衛生・安部	
12	10	月	1	診療情報	情報管理	医療情報・本多	臨1
			2	診療情報	プライバシー、診療録	医療情報・本多	

社会医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	11	火	1	地域保健	へき地医療	非常勤・白濱	臨1
			2	地域保健	農村保健	非常勤・上田	
12	17	月	1	生活環境保健	環境保全、公害、廃棄物処理	非常勤・有澤	臨1
			2	生活環境保健	内分泌攪乱物質、大気・上下水道	非常勤・有澤	
12	18	火	1	地域保健	精神保健	精神科・中根	臨1
			2	地域保健	精神保健	精神科・中根	
1	7	月	1	感染症	感染症法、予防接種法	感染・分子疫学・中込	臨1
			2	感染症	食中毒・食品衛生法・食品安全基本法	感染・分子疫学・中込	
			3	地域保健	学校保健	公衆衛生・高村	
			4	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉施設・従事者	公衆衛生・安部	
1	8	火	1	地域保健	長崎県の保健・医療	非常勤・山崎	臨1
			2	地域保健	環境モニタリング、アセスメント	非常勤・今井	
			3	臨床研究と医療	副作用報告、臨床試験	薬剤部・佐々木	
1	15	火	1	臨床研究と医療	診療ガイドライン、法令	薬剤部・佐々木	臨1
			2	社会保障	社会保障制度	公衆衛生・青柳	
			3	社会保障	医療保険・公費医療・医療経済	公衆衛生・青柳	

皮膚系

責任者	氏名	佐藤伸一	内線	2960
	教室	皮膚科学(皮膚病態学)	e-mail	s-sato@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	9:00~17:00 必ず事前にアポイントを取ること		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Dermatology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

皮膚は生体の最外層を覆う器官であり、内外からの影響を受けて鋭敏に反応し、様々な病変を呈する。それは実際に目で見る事が出来る病変であり、生検も容易に行える点が特異といえる。しかしその一方で、皮膚病変の原因は無数にあり、診断名も煩雑であることが理解されにくい一因であろう。この系では、臨床医に必要な皮膚疾患の概説を行うが、単なる暗記ではなく、皮膚の構造と状態を理解し、病変を見た場合の診断の仕方を、皮疹の見方、病理所見、病因、病態などを把握しながら学んでほしい。

また、「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、思わぬ内臓疾患が判明することもある。皮膚病変の位置づけを全身疾患との関連性の面でも理解してほしい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

全20時間の講義は、皮膚科15、形成外科4、病理1からなる。講義は皮膚の解剖、生理、病理、診断に始まり、皮膚科からは各種皮膚疾患の講義を、形成外科より形態異常、熱傷、瘢痕及びケロイド、皮膚潰瘍などの講義を行い、皮膚と内臓病変、治療をもって終了とする。詳細は講義日程を参照のこと。

3. 教科書、参考書等

皮膚科、病理：要点を記載したプリントを配布するが、全てはカバーできないため、参考書はぜひ一冊持ってほしい。

書名	著者	出版社	定価
あたらしい皮膚科学	清水宏 著	中山書店	7,200円
皮膚科学	上野賢一 著	金芳堂	6,800円

形成外科：プリント配布予定

書名	著者	出版社	定価
標準形成外科学 第4版	鬼塚卓弥 監修	医学書院	6,800円
TEXT形成外科 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	9,064円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行う。各科の時間数に応じて配点を割り当て、総計100点として評価する。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40点に満たない時は不合格となることもある。また、評価には出席率も考慮する。

5. 教員名

皮膚科：佐藤伸一、清水和宏、竹中基、小川文秀、武石恵美子

形成外科：平野明喜、田中克己、秋田定伯

病理部：安倍邦子

非常勤：藤原作平(大分大)、西本勝太郎(掖済会長崎病院)、鳥山史(日赤長崎原爆病院)、廣瀬寮二(長崎市立市民病院)、宿輪哲生(国病長崎医療センター)

6. 備考(準備学習等)

皮膚系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	2	火	3	皮膚総論 1	皮膚の構造と機能、皮膚科診断学	皮膚科・佐藤	臨1
			4	皮膚総論 2	皮膚病理組織学	病理部・安倍	
10	9	火	3	形成外科概論、組織移植	形成概論、組織移植、人工医用材料	形成外科・平野	臨1
			4	皮膚附属器疾患	毛髪・爪の異常、汗腺性疾患	非常勤・宿輪	
10	16	火	3	光線性皮膚障害	光線過敏症	皮膚科・清水	臨1
			4	全身と皮膚1	膠原病の皮膚症状(1)	皮膚科・佐藤	
10	23	火	3	物理的皮膚損傷	熱傷・化学損傷	形成外科・田中	臨1
			4	皮膚感染症 1	細菌・真菌による皮膚感染症	非常勤・西本	
10	30	火	3	創傷治癒、瘢痕・ケロイド、慢性創傷	創傷治癒、瘢痕・ケロイド、褥瘡・難治性潰瘍	形成外科・秋田	臨1
			4	皮膚良性腫瘍	皮膚良性腫瘍	皮膚科・武石	
11	6	火	3	皮膚形成の基礎	皮膚縫合法、植皮・各種皮弁、Z形成術	形成外科・田中	臨1
			4	水疱症、膿疱症	自己免疫水疱症、先天性表皮水疱症	非常勤・藤原	
11	13	火	3	皮膚リンパ腫	肉芽腫性疾患、皮膚リンパ腫	皮膚科・清水	臨1
			4	湿疹・皮膚炎	薬疹・虫などによる皮膚炎	皮膚科・竹中	
11	20	火	3	皮膚悪性腫瘍	皮膚悪性腫瘍（メラノーマを含む）	皮膚科・武石	臨1
			4	母斑、血管腫、色素異常症	母斑・色素異常症	非常勤・廣瀬	
11	27	火	3	皮膚感染症2、全身性の皮膚疾患	ウイルス性皮膚感染症、代謝異常症、紅斑症	皮膚科・小川	臨1
			4	皮膚総論 3	皮膚科治療法	非常勤・鳥山	
12	4	火	3	角化症	炎症性角化症、角化異常症	皮膚科・清水	臨1
			4	全身と皮膚2	膠原病の皮膚症状(2)	皮膚科・佐藤	

精 神 系

責 任 者	氏 名	小 澤 寛 樹	内 線	2860
	教 室	精神神経学 (精神神経科学)	e-mail	ozawa07@
	オフィスアワー	水曜日・12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Neuropsychiatry		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：精神と行動の障害として表現される精神疾患の症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて学ぶ。精神疾患の多くは、その成り立ちに多因子が関与しており、種々の要因によって準備される個体の脆弱性と広義のストレスとの相互作用によって、発症に至るものが多い。従って精神疾患の理解は、分子レベルから、神経系・内分泌系・免疫系・循環系が交錯する脳、個体、家族、社会、文化、生態系などの多次元の病理が個人の精神と行動の障害として現れたものとしてとらえることができる。したがって、精神疾患に対する治療とケアは自ら多次元の多様なものとなる。

到達目標：精神疾患に罹患した人々の内的苦悩を実感できる。
精神疾患の病態と成因、治療・ケアの基本的な理解ができる。
こころと行動の理解を目指す諸科学のめざましい発展の実状を理解する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

精神障害の成り立ちや治療を理解する上での精神医学全般に関する知識の提供。精神医学分野でのbio-psycho-social-ethicalといった多軸的な観点を養う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準精神医学	野村総一郎、樋口輝彦	医学書院	6,500円
現代臨床精神医学	大熊輝雄	金原出版	7,500円
精神医学	大月三郎	文光堂	7,200円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査（筆記試験）80%、レポート20%などの他出席状況も評価に含める。

5. 教員名

精神神経科：小澤寛樹、中根秀之、今村 明、黒滝直弘、木下裕久
保健学科：太田保之
非常勤講師：岡崎祐土（都立松沢病院）、齋藤利和（札幌医科大学）、
高橋克朗（長崎県立精神医療センター）、辻村徹（長崎市民病院）

6. 備考（準備学習等）

精神系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	1	月	3	精神医学入門	歴史、主な理論・分野	精神科・小澤	臨1
			4	精神疾患のイメージ	主要精神障害（VTRなど）	精神科・小澤	臨1
10	15	月	3	精神疾患の分類と診断/精神症候学	分類概念、分類体系、診断基準、治療模擬患者VTR、精神病症状、感情障害症状、神経症症状	精神科・中根	臨1
			4	症状評価・検査法	面接法、評価尺度、生理学検査（脳波など）、脳画像検査、心理検査（投影法、非投影法など）	非常勤・辻村	臨1
10	22	月	3	統合失調症の病態生理と成因	脳形態、精神生理、心理学、遺伝疫学、分子遺伝学	非常勤・岡崎	臨1
			4	統合失調症の疫学と症状、治療	概念史、亜型、経過、診断、薬物療法、精神療法、生活療法、家族療法	精神科・黒滝	臨1
10	29	月	3	「べてるの家」の活動	ユーザーによる社会的活動	精神科・小澤	臨1
			4	感情障害の症候学と疫学	概念史、亜型、経過、診断	精神科・小澤	臨1
11	5	月	3	感情障害の病態生理と治療	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法、精神療法	精神科・小澤	臨1
			4	神経症性障害の総論と各論	概念史、症候学、分類、診断基準、社会恐怖、解離性障害	精神科・中根	臨1
11	12	月	3	神経症性障害の各論	強迫性障害、パニック障害、全般性不安障害	非常勤・高橋	臨1
			4	人格障害、生理機能の障害	人格障害の概念史、分類、診断基準、睡眠障害、摂食障害	精神科・今村	臨1
11	19	月	3	精神作用物質性障害	アルコール関連精神障害、急性中毒、依存症候群（モルヒネ、アンフェタミン、大麻など）	非常勤・齋藤	臨1
			4	災害精神医学	トラウマの概念、PTSDの疫学、介入、治療	保健学科・太田	臨1
11	26	月	3	リエゾン・コンサルテーション精神医学	概説、対象疾患、せん妄、チーム医療の概説	精神科・木下	臨1
			4	身体疾患に伴う精神障害、症状精神病の概説	分類概念、診断基準、治療	精神科・木下	臨1
12	3	月	3	小児・思春期における精神障害	分類、症候学、IQ、診断基準、特異的治療、ファミリーサポート、ケアシステム、合併症治療	精神科・今村	臨1
			4	司法精神医学	精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	精神科・今村	臨1
12	10	月	3	認知（痴呆）症の症候学、疫学、病態、治療、ケア	症候学、病態、疫学、薬物療法、非薬物療法	精神科・黒滝	臨1
			4	性心理・性嗜好の障害	分類、症候学、診断基準、治療	精神科・中根	臨1
12	17	月	3	精神医学における今日のニューロサイエンス	精神障害のニューロサイエンスの最近の研究から	精神科・小澤	臨1
			4	まとめ	まとめ	精神科・小澤	臨1

小 児 系

責 任 者	氏 名	森 内 浩 幸	内 線	2883
	教 室	小児科学（小児病態制御学）	e-mail	hiromori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	17:00 18:00 / 095-849-7298		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Pediatrics & Pediatric Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらう。

到達目標：正常発達過程を理解することができる。小児の特異性を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。成長発達していく過程で生じる主な内科的・外科的疾患の病態生理・臨床的特徴・診断法・予防法・治療法を覚える。（小児科総括講義と併せて）小児患者に対する症候学的アプローチの基礎を習得し、小児科臨床実習を行うにあたって必要な臨床知識を整理することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 オムニバス形式で小児の正常発達、（他の系で取り上げられていない）小児内科的疾患、小児外科的疾患、小児形成外科的疾患、小児歯科学を講義する。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	鬼塚・福田 編	医学書院

（注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。）

4. 成績評価の方法・基準

定期考査80%、レポート20%：定期考査では主な小児疾患の病態生理・臨床像・診断・予防・治療法の理解と習得できた知識のレベルを評価する。レポートでは正常発達過程と小児の身体的・精神的・社会的特異性に対する理解度を評価する。

5. 教員名

森内浩幸、田川正人、本村克明（小児科）；大畠雅之（外科1）；廣瀬龍一郎（外科2）；矢野浩規（形成外科）；【非常勤講師】藤原 卓（歯学部）；福田雅文、田代香澄、近藤達郎（みさかえの園）；平松公三郎（国立病院機構長崎病院）；本山和徳、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター）

7. 備考（準備学習等）

小児の疾患については他の多くの系の授業の中でも取り上げられており、それらを総合して始めて小児の疾患を網羅的に学ぶことができる。小児系とこれらの系の関連講義で学んだことを相互に連結されるように予習・復習する。

小児系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	2	火	1 2	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児：乳幼児期は感受性が高く、両親から多くを学び、親子が共に急速に成長する時期である。妊娠・出産・子育てを理解し、人生で最も大事な時期を医師として如何に支援していくかを学ぶ。	福田（非常勤：みさかえの園）	臨1
10	9	火	1 2	新生児	新生児期は胎児期から乳児・小児期への移行期にあたり、特殊な生理・病態を呈する。胎児・新生児の生理をよく理解してもらった上で、早産に代表されるハイリスク新生児の病態や疾患について解説する	田川（小児科）	臨1
10	16	火	1 2	感染症・免疫	小児の免疫学的特徴を理解し、種々の病原体の疫学と生態学を知り、小児における主な感染症を学ぶ。また先天性・後天性の免疫不全の病因病態を理解し、小児期に起こりやすい自己免疫疾患を習得する。	森内（小児科）	臨1
10	23	火	1 2	呼吸器・アレルギー	小児気管支喘息の病態生理・診断・重症度分類・治療（急性発作への対応、長期管理の為の薬物療法）、食物アレルギーの臨床型分類・診断・治療・予防、アナフィラキシーの定義・対応を学ぶ。	田代（非常勤：みさかえの園）	臨1
10	30	火	1 2	内分泌・代謝・栄養	小児の成長の特性について理解するとともに、発達期の栄養と内分泌代謝疾患の概要を把握する。	本村（小児科）	臨1
11	6	火	1	小児診療内科	小児の心と身体の関わりについて学ぶ。小児の心身症、行動障害、不登校など、心身医学的配慮が必要な病態と、その対応について理解する。	小柳（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター） 本山（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	臨1
			2	発達障害	発達障害の概念、診断法について述べ、さらに児の早期発達支援ならびに家族支援の重要性を学ぶ。		
11	13	火	1	小児形成外科	顔面・手の発生と様々な先天異常、および発達中の小児における治療とその影響について講義する。	矢野（形成外科） 平松（非常勤：国立病院機構長崎病院） 藤原（非常勤：歯学部）	臨1
			2	前半：療育医療 後半：小児歯科	医療を要する重度重複障害児の存在を認識し、命を支え障害と共に生きるために必要な医療について理解する。 口腔や歯に影響を及ぼす疾患や薬剤について、齶蝕原性細菌の伝播と齶蝕の発生メカニズムについて		
11	20	火	1 2	先天異常・遺伝	メンデル遺伝、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、染色体異常、後成的修飾による疾患を各々概説し、遺伝性疾患患者がおかれている諸問題及びそれに対する遺伝カウンセリングについて論じる。	近藤（非常勤：みさかえの園）	臨1
11	27	火	1 2	小児外科（1）	小児外科総論、顔面・頸部、胸部（胸壁・肺・気管・縦隔・横隔膜・乳腺・食道）、消化管（胃・十二指腸・空回腸・結腸・直腸）疾患の発生、病態、診断、治療について理解する。	大島（第1外科）	臨1
12	4	火	1 2	小児外科（2）	（肝胆膵・腹壁・移植・腫瘍）特に胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、腹壁形成異常（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、小児の移植、小児固形腫瘍と集学的治療について概説する。	廣瀬（第2外科）	臨1

感 染 症 系

責 任 者	氏 名	中込 治	内 線	2222
	教 室	分子疫学(旧衛生学)	e-mail	onakagom@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	17:00~18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Infectious Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい: 多様な病原体が個体に感染することにより起こる感染症は、日常臨床で遭遇する疾病の中で最多のものである。感染症にはどのような特徴があるか、また感染症の患者にいかによりアプローチし、いかに的確な診断、治療さらに予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶことで、病原体の多様性や、同様に多様なそれぞれの感染症の臨床像とを整合性を持って考える力をつけることがねらいである。

到達目標: 臨床医学の中での感染症の特徴を理解して、説明することができる。感染症の患者へのアプローチや診断、治療、予防を総合的にとらえて説明することができる。熱帯感染症についてその背景、特徴を説明することができる。病原微生物学を習得し宿主・病原体関係について説明することができる。

2. 授業内容(講義・実習項目)

概要 内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する内容を学習する。「熱帯医学」の視点を取り入れ、感染症の多くが熱帯地を中心とする途上国に頻発し、海外へのあるいは海外からの旅行者や赴任者が増加の一途をたどっている背景を元に、マラリア、デング熱、下痢症、新興感染症を学ぶ。またおのおのの病原体の基礎知識、宿主・病原体関係について理解し感染症の病態生理を根本的に理解することを学ぶ。

3. 教科書、参考書等

特に教科書は指定しないが、以下のものを参考書として推薦する。

斉藤厚、那須勝、江崎孝行「標準感染症学 第2版 医学書院

平松啓一、中込治 編 「標準微生物学」 第9版 医学書院 2005

河野 茂 編 「感染症のとらえ方」 文光堂

Mandel, Bennett, Dolin 6th ed 2004 「Principles and Practice of Infectious Disease」 Churchill Livingstone.

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%。授業内容を中心に出題する筆記試験により行う。

5. 教員名

(授業順)

病態分子疫学分野(旧衛生学) 中込治

病態生理制御学分野(第二内科) 河野茂

附属病院 感染制御教育センター 安岡彰

先進感染制御学分野(第二内科) 関雅文

附属病院 第二内科 宮崎義継

呼吸器病体制御学分野(第二内科) 泉川公一

感染病態制御学分野(小児科) 森内浩幸

分子治療研究分野(原研内科) 塚崎邦弘

感染症予防治療分野(熱研内科) 有吉紅也

感染症予防治療分野(熱研内科) 森本浩之輔

熱研病原体分子構造解析分野 森田公一

比較動物医学分野(動物実験施設) 佐藤浩

呼吸器病態制御学分野(第二内科) 大野秀明

病態分子疫学(旧衛生学) 中込とよ子

感染症予防治療分野(熱研内科) 宮城啓

6. 備考(準備学習等)

感染症系(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	5	金	3	感染症と病原体	感染症学の基礎として微生物学があることを説明し、また主な病原体とその特徴を述べるができる。	分子疫学・中込	臨1
			4	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法	感染症の古典的な鏡顕や培養、抗血清による診断法から、近年開発された尿中抗原検査や遺伝子診断まで適応や意義を学ぶ。	第二内科・河野	
10	12	金	3	感染症の伝播経路と院内感染対策	接触感染、飛沫感染、空気感染の違いと、院内感染対策の上で重要な病原菌の病態と対処方法を学ぶ。	感染制御教育センター・安岡	臨1
			4	不明熱と敗血症，SIRS	不明熱の3大原因の一つが感染症である。不明熱をみた場合に鑑別すべき感染症と診断法について学ぶ。	第二内科・関	
10	19	金	3	抗菌薬の選択法	最新の一般抗菌薬と抗真菌薬の種類、各系統のスペクトルや副作用の特徴、典型的な適応症について学ぶ。	第二内科・宮崎	臨1
			4	難治性感染症；耐性菌やバイオフィルム	問題となる難治性感染症の原因として各種耐性菌やバイオフィルム感染症などがあるが、具体的な疾患について学ぶ。	第二内科・泉川	
10	26	金	3	感染症の予防：能動免疫と受動免疫	ワクチン接種による能動免疫と免疫グロブリン製剤による受動免疫による感染症の予防法を概説する。	小児科・森内	臨1
			4	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症	抗がん剤治療後のがん患者などにおける免疫不全と併発する感染症の病態生理を講義する。	原研内科・塚崎	
11	2	金	3	熱帯医学と感染症：歴史的背景と現代における使命	熱帯医学について基礎科学研究から臨床・国際貢献まで紹介し、熱帯医学を幅広くとらえる視野を持たせる。英国を例に熱帯医学発展の歴史的背景を説明し、新興・再興感染症に関連させ現代における使命について講義する。	熱研内科・有吉	臨1
			4	熱帯でよくみる細菌性腸管感染症の診断と治療：腸チフス，コレラ，赤痢，その他の細菌性下痢症	主に熱帯地でみられる、コレラ、細菌性赤痢、腸チフスなどの細菌性腸管感染症について、病態、診断、治療について解説する。またこれに関連して、旅行者における下痢症や原虫性腸管感染症にも概説する。	熱研内科・森本	
11	9	金	3	ウイルス感染症の診断と治療	ウイルス感染症の診断法と治療法についての総論と、臨床的に重要な幾つかのウイルスの各論を概説する。	小児科・森内	臨1
			4	蚊が媒介するウイルス感染症の診断と治療	熱帯地域で重要な日本脳炎、デング出血熱、西ナイル熱などの蚊媒介性ウイルス感染所の診断、治療、予防について講義する。	熱研・森田	
11	16	金	3	マラリアの診断と治療および予防	マラリアの疫学・病態・臨床・診断方法・治療・予防について体系的に説明する。臨床症例を用いて患者像を理解させる。また、発展途上国におけるマラリアの現状についても紹介し、地球規模でのマラリア問題を認識させる。	熱研内科・有吉	臨1
			4	人獣共通感染症	人獣共通（動物由来）感染症について、微生物の概説、伝播方式、予防策などトピックを交えながら講義する。	比較動物医学・佐藤	
11	30	金	3	感染症と危機管理	感染症アウトブレイクに対する世界、地域、国家、病院、レベルでの対応について講義する。	熱研・森田	臨1
			4	抗酸菌感染症の診断と治療	結核症と非結核性抗酸菌症の疫学、病態と鑑別診断、さらに診断方法と標準的な治療法に関して学習する。	第二内科・大野	
12	7	金	3	深在性真菌症の診断と治療	深在性真菌症の主要な病原菌、重要な基礎疾患、エビデンスに基づく抗真菌薬療法について学ぶ。	第二内科・河野	臨1
			4	エイズの概観，HIVのウイルス学、エイズの免疫学	HIV感染が人類に及ぼす影響、そのウイルス学的特徴、宿主免疫系との相互作用を概説する。	小児科・森内	
12	14	金	3	エイズの疫学，自然経過，予防	HIV感染の自然経過を説明し、他の感染症流行と比較しながらエイズ流行の本質的問題について理解を深める。発展途上国、米国、日本におけるエイズ流行の動向について概説し、予防対策の問題点について考察させる。	熱研内科・有吉	臨1
			4	エイズの臨床	CD4値・ウイルス量と関連付けながら、HIV感染に関連する様々な臨床像について詳細に説明する。急性HIV感染症例や多くの日和見感染症症例を紹介しながら、エイズの臨床像について理解を深める。	熱研内科・有吉	
12	21	金	3	エイズの治療	HIV感染者・エイズ患者の治療について、様々な日和見感染症の予防・治療と抗HIV薬併用療法の2つの柱に分けて体系的に説明する。HIV感染の病態に関連付け抗HIV薬併用療法の目標と課題について理解させる。	熱研内科・有吉	臨1
			4	ウイルス性胃腸炎の診断と治療：ロタウイルス・ノロウイルスなど	ウイルス性胃腸炎の病原ウイルスとその特徴について学び、また、診断と治療の要点を示すことができるよう学習する。	分子疫学・中込とよ子	
1	11	金	3	熱帯でよくみる呼吸器感染症と細菌性髄膜炎の診断と治療	熱帯地や発展途上国における細菌性肺炎と細菌性髄膜炎の公衆衛生面での重要性について概説し、各疾患の診断と治療、予防戦略について詳しく説明する。	熱研内科・森本	臨1
			4	性行為感染と母子感染	ヒトの再生に関わる性行為・妊娠・分娩・授乳の営みを介して起こる感染症の代表的なものを概説する。	小児科・森内	
1	18	金	3	旅行医学	旅行外来の役割について概説し、旅行外来で扱う輸入感染症の予防・治療について詳細に説明する。	熱研内科・宮城	臨1
			4	演習		分子疫学・中込	

法 医 学 系

責 任 者	氏 名	中 園 一 郎	内 線	2252
	教 室	社会医学・法医学	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	16:30～17:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Forensic Medicine		

1．授業のねらい・方法・到達目標

法医学は「医学的解明助言を必要とする法律上の案件・事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的」としており、これを達成するに必要な知識獲得を授業目標とする。

到達目標：

- 1．医師の専任事項である死体検案（死後診察）について確実に理解できる。特に、検案の主目的である「死因」、「死亡推定時刻」、「個人識別」、「法医学的異状の有無」に関しては、論理的で正確な判断を行なえる、また、「異状死」という概念を説明できる。
- 2．さらに、医師として必要な「死亡診断書（死体検案書）」を正確に記載・作成できる。

2．授業内容（講義・実習項目）

到達目標に則して、死因論（内因死、外因死）、個人識別（血液型、物体検査を含む）及び異状死の概念と死体検案の方法並びに死体検案書の記載・作成法等の講義を行なう。

3．教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
学生のための法医学（改訂6版）	田中宣幸 他	南山堂	5,300 円
エッセンシャル法医学	高取健彦 他	医歯薬出版	6,000 円
死体検案マニュアル2005年	日本法医学会	日本法学会	2,000 円

4．成績評価の方法・基準

定期考査90%、出席点10%で評価する。上記到達目標を60%以上到達できた場合を合格とする。

5．教員名

法医学：中園一郎、池松和哉、津田亮一

非常勤講師：田中宣幸（産業医科大）、久保真一（徳島大）、木村恒二郎（広島大）

6．備考（準備学習等）

講義前に教科書を読み、法医学用語を学習・理解しておく。

法医学系授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
10	4	木	3	法医学概論	法医学の定義・歴史	法医・中園	第2
			4	死の判定と死因	生から死への過程、死の判定、死因、死因論		
10	11	木	3	死体現象（１）	早期死体現象	法医・中園	第2
			4	死体現象（２）	晩期死体現象・特殊死体現象		
10	18	木	3	外因死と内因死	外因死と内因死の定義	法医・中園	第2
			4	損傷（１）	鋭器・鈍器損傷		
10	25	木	3	窒息死（１）	頸部圧迫による窒息死	法医・中園	第2
			4	窒息死（２）	鼻口閉塞・気道内異物等による窒息死		
11	1	木	3	異常環境下の死	高温による障害・低温による障害	非常勤・田中	第2
			4	血液型	赤血球型・血清型・赤血球酵素型・DNA型	法医・津田	
11	8	木	3	損傷（２）	小児・配偶者・高齢者に対する虐待	法医・中園	第2
			4	親子鑑定	親子鑑定の実際	法医・津田	
11	15	木	3	個人識別	個人識別（特に白骨死体）	法医・津田	第2
			4	損傷（３）	頭部の損傷（外景・内景所見と死因）	非常勤・久保	
11	29	木	3	溺死	溺死体と水中死体	法医・中園	第2
			4	内因死	若年者・成人における内因性急死		
12	6	木	3	物体検査	血痕検査・精液（斑）検査	法医・津田	第2
			4	法医中毒学	アルコール・農薬・覚醒剤中毒	非常勤・木村	
12	13	木	3	検案の実際（１）	死亡診断書（死体検案書）の書き方	法医・池松	第2
			4	検案の実際（２）	死亡診断書（死体検案書）の書き方		
12	20	木	3	検案の実際（３）	検案の方法と注意点	法医・池松	第2
			4	検案の実際（４）	検案の方法と注意点		

診 断 学

責任者	氏名	大園 恵 幸	内 線	2991
	教室	総合診療学（総合診療学）	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30-18:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3
英語名	Physical Diagnosis		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

診断学では、臨床の第一歩として医師 - 患者信頼関係を重視した医療面接技能及び基本的臨床技能を修得する。さらに症候から診断への的確なアプローチ法を学ぶとともに患者の立場に立った医療を行える医師となるための基礎を築くことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：総論として医療面接技能、基本的身体診察技能とともに内科、外科、臨床検査診断、放射線、内視鏡、症候診断、眼底、鼓膜診察法を教授する。

実習：実習要領に沿って総論実習3回と項目についての各論実習を10回行う。

総論実習では、チューターとなる教官がそれぞれのグループの学生に基本的診察技能を指導する。各論実習では、それぞれの専門医が主要症候から診断法、身体診察法を指導する。

3. 教科書、参考書等

基本的臨床技能マニュアル(長崎大学医学部編)を配付する。それに加えて下記の教科書・参考書が参考となる。

書 名	著 者	出版社	定 価
内科診断学	武内重五郎	南江堂	7,500 円
診察診断学	高久史磨 監修 橋本信也、福井次矢	医学書院	6,000 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験：講義及び実習内容について筆答試験を行う。

実技試験：共用試験OSCE（客観的臨床技能試験）により実技試験を行い修得度を判定する。

出席：講義・実習とも出席状況を評価に入れる。OSCE結果、筆記試験、出席状況を合わせて合格を決定する。

5. 教員名

第一内科：江口、本村、中尾、川上、辻野、井田、阿比留、宇佐、市川

第二内科：河野、水田、早田、迎、松瀬、磯本、古巣、山本

第三内科：瀬戸、芦澤、河野、小出、小宮、中尾

原研内科：朝長、塚崎、宮崎、波多

熱研内科：有吉、森本、土橋、黒木

第一外科：中村、澤井、大畠、矢野、山崎、日高

放射線科：上谷、磯本、坂本、小川

中央検査部：上平、山田、柳原

耳鼻科：高橋、崎浜

眼科：北岡

光学医療診療部：宿輪

総合診療科：大園、竹島、阿部

6. 備考（準備学習等）

実習の前には、基本的臨床技能マニュアル(長崎大学医学部編)やその他の教科書であらかじめ予習しておくこと。

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	水	2	外科診断学総論	乳腺・リンパ節の診察、 手術用帽子・マスクの着用、 手洗い法、ガウンテクニック	一外科 矢野	臨1
			3	診断学総論	診断のプロセス 医療面接 基本的身体診察	総診 大園・竹島	臨1
			4				
10	10	水	2	外科診断学総論	直腸・肛門の診察、外科縫合の概	一外科 澤井	臨1
			3	内科診断学総論実習			
			4				
10	17	水	2	臨床検査医学総論	検査診断学総論	中検 上平	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				
10	24	水	2	臨床検査医学総論	血液・血清検査と診断学	中検 山田	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				
10	31	水	2	臨床検査医学総論	微生物検査と診断学	中検 柳原	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				
11	7	水	2	放射線診断学総論	X線の基礎、放射線防護	放射線科 上谷・小川	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				
11	14	水	2	放射線診断学総論	血管造影・IVR	放射線科 坂本	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				
11	21	水	2	放射線診断学総論	超音波・CT・MRI	放射線科 磯本	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・一外科・ 総診	
			4				

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	28	水	2	内視鏡診断学総論	消化器内視鏡診断： 炎症と潰瘍	光学 宿輪	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5 内科・一外科・ 総診	
			4				
12	5	水	2	内視鏡診断学総論	消化器内視鏡診断：腫瘍、 ERCP、EUS	光学 宿輪	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5 内科・一外科・ 総診	
			4				
12	11	火	3	症候診断学	人知かコンピューターか	一内科 江口	臨1
			4	症候診断学	これからの診断学 インターネットの活用	二内科 河野	臨1
12	12	水	2	眼底の診察法	眼底鏡の使い方	眼科 北岡	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5 内科・一外科・ 総診	
			4				
12	18	火	3	症候診断学	診断学実践のポイント	三内科 瀬戸	臨1
			4	症候診断学	症候から診断までのプロセス	原研内科 朝長	臨1
12	19	水	2	鼓膜の診察法	耳鏡の使い方	耳鼻科 崎浜	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5 内科・一外科・ 総診	
			4				
1	9	水	2	症候診断学	感染症と症候診断	熱研内科 有吉	臨1
			3	内科診断学総論実習	実習要領参照	5 内科・総診	
			4				
1	16	水	2	OSCE	OSCEについて	総診 大園・竹島	臨1
			3	内科診断学総論実習	実習要領参照	5 内科・総診	
			4				

7. 診断学実習要領

(1) 総論実習

A～Pの16グループに分かれて、基本的身体診察法を学ぶための実習を3回（10/10, 1/9, 1/16の午後）、下表の指導教官のもとで行う。各実習日の13:30に下表の場所に集合すること。

グループ（履修番号）	指導担当教官	集合場所
A（ ）	本村 政勝（一内科）	9階 外来待合室
B（ ）	水田 陽平（二内科）	12階 外来待合室
C（ ）	瀬戸 信二（三内科）	7階 外来待合室
D（ ）	塚崎 邦弘（原研内科）	11階 外来待合室
E（ ）	森本 浩之輔（熱研内科）	12階 外来待合室
F（ ）	竹島 史直（総合診療科）	総診 外来待合室
G（ ）	中尾 一彦（一内科）	9階 外来待合室
H（ ）	迎 寛（二内科）	11階 外来待合室
I（ ）	芦澤 直人（三内科）	7階 外来待合室
J（ ）	宮崎 泰司（原研内科）	11階 外来待合室
K（ ）	土橋 佳子（熱研内科）	12階 外来待合室
L（ ）	川上 純（一内科）	9階 外来待合室
M（ ）	松瀬 厚人（二内科）	11階 外来待合室
N（ ）	小出 優史（三内科）	7階 外来待合室
O（ ）	波多 智子（原研内科）	11階 外来待合室
P（ ）	黒木 麗喜（熱研内科）	12階 外来待合室

A・Bは総論実習のグループ編成を示す。以下同様
グループ編成は後日知らせる。

実習（総論、各論）の開始は13:30からである。講義とは異なっているので気をつけること

(2) 各論実習

下記の日程に従って、神経、血液、感染症、代謝、内分泌、消化器、呼吸器、循環器、膠原病、腎臓、外科、プライマリケア、疾患についての基本的診断手技の実習を10回行う。

各論実習ローテーション表

実習期日			10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19
実習項目 担当責任教官	実習時間	集合場所	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
神経疾患 (一内科) 本村政勝	13:30~15:00	9階 外来待合室
	15:20~16:50	
膠原病疾患 (一内科) 井田弘明	15:20~16:50	9階 外来待合室	
血液疾患 (原研内科) 塚崎邦弘	13:30~15:00	11階 外来待合室	
感染症疾患 (熱研内科) 土橋佳子	15:20~16:50	12階 外来待合室	
代謝疾患 (一内科) 阿比留教生	13:30~15:00	9階 外来待合室	
内分泌疾患 (一内科) 宇佐俊郎	15:20~16:50	9階 外来待合室	
消化器疾患 (一内科) 市川辰樹 (二内科) 磯本 一	13:30~15:00	9階 / 11階 外来待合室	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	15:20~16:50		/		/		/		/		/	
プライマリケア・ BLS (総合診療科) 竹島史直	15:20~16:50	臨床技能訓練室	
呼吸器疾患 (二内科) 山本善裕	13:30~15:00	11階 外来待合室
	15:20~16:50		
腎臓疾患 (二内科) 古巣 朗	15:20~16:50	8階 外来待合室	
循環器疾患 (三内科) 瀬戸信二	13:30~15:00	7階 外来待合室
	15:20~16:50		
外科 (一外科) 中村昭博	15:20~16:50	臨床技能訓練室	

・ は各論実習のグループ編成を示す。以下同様
グループ編成は後日知らせる。
総論と各論でグループ編成が異なることに注意
BLS: Basic Life Support

放射線医学

責任者	氏名	上谷雅孝	内線	3040
	教室	放射線医学（放射線診断治療学）	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Radiology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標 と 2. 授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。本講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。到達目標は、国家試験レベルの代表的疾患の画像診断ができるようになること、および放射線治療の適応・方法についての理解である。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
標準放射線医学 第6版	高島 力 他編	医学書院	10,300円
必修放射線医学 第3版	高橋睦正 編	南江堂	10,000円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著，藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
単純写真読影のためのキーワード201	上谷雅孝 編	メディカルビュー社	9,500円
胸部単純X線アトラス	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500円

4. 成績評価の方法・基準

4年時学年末試験にて60%以上の得点率にて合格とする。

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、伊東昌子、磯本一郎、坂本一郎、芦澤和人、林 靖之
森川 実、小川洋二

非常勤講師：福田俊夫（長崎市民病院）、松永尚文（山口大学）、越智 誠（長崎北病院）

6. 備考（準備学習等）

画像診断や放射線治療の理解は、各疾患の病態生理・病理学等の理解が基本となる。これまで学習してきた各臓器・領域の主な疾患について復習しておいてほしい。

放射線医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	5	金	2	骨・関節	放射線科・上谷	臨1
10	12	金	2	骨粗鬆症・骨塩定量	放射線科・伊東	臨1
10	19	金	2	乳腺	放射線科・磯本	臨1
10	26	金	2	腹部(1)	放射線科・磯本	臨1
11	2	金	2	腹部(2)	非常勤・福田	臨1
11	9	金	2	血管造影・IVR(1)	非常勤・松永	臨1
11	16	金	2	血管造影・IVR(2)	放射線科・坂本	臨1
11	30	金	2	MRI, 脳神経(1)	放射線科・森川	臨1
12	7	金	2	脳神経(2)	非常勤・越智	臨1
12	14	金	2	放射線治療(1)	放射線科・林(靖)	臨1
12	21	金	2	放射線治療(2)	放射線科・林(靖)	臨1
1	8	火	4	胸部(1)	放射線科・芦澤	臨1
1	11	金	2	胸部(2)	放射線科・芦澤	臨1
1	18	金	2	核医学(1)	放射線科・小川	臨1
1	25	金	2	核医学(2)	放射線科・小川	臨1

臨床検査医学

責任者	氏名	上平 憲	内線	3421
	教室	臨床検査医学 (病態解析・診断学)	e-mail	kamihira@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Laboratory medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：医療における検証検査の意義を系統的に理解し解釈する能力を養う。

方法（学習指導法）：講義形式とし、プリントやプロジェクターを用いて解説する。

到達目標：検査情報を正しく分析・解釈することができ、また検査情報を活用した適正な医学的判断能力を習得できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

正しい臨床診断を得るためには検査データの科学的かつ総合的な解釈能力が要求される。病院の中核機関である検査部や病院病理部、輸血部で行われている検査について理解を深め、各種検査についての基本的知識や解釈原理、異常値が出る病態生理学的機序を理解する授業を行う。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
臨床検査ガイド		文光堂	
標準臨床検査医学		医学書院	
臨床検査法提案		金原出版	
標準病理学		医学書院	
よくわかる輸血学		羊土社	
移植・輸血検査学		講談社	
血液細胞アトラス		文光堂	
Handbook of Hematologic Pathology		Marcel Dekker Inc, USA	

4. 成績評価の方法・基準

定期考査80%、講義時の演習問題20%

検査情報を正しく分析・解釈することができ、また検査情報を活用した適正な臨床診断能力がついているか否かを評価する60%以上の正解率をもって合格とする。

5. 教員名

臨床検査医学：上平 憲、山田恭暉、柳原克紀

病理部：林 徳真吉、輸血部：長井一浩

6. 備考（準備学習等）

臨床検査医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	3	水	1	総論（1）医療と臨床検査	臨床検査医学・上平	臨1
10	10	水	1	総論（2）検査値の解釈原理	臨床検査医学・上平	臨1
10	17	水	1	各論（1）臨床化学総論	臨床検査医学・上平	臨1
10	24	水	1	各論（2）一般・検査血液学	臨床検査医学・上平 / 一瀬	臨1
10	31	水	1	各論（3）臨床化学各論（1）	臨床検査医学・長谷川	臨1
11	7	水	1	各論（4）臨床化学各論（2）	臨床検査医学・長谷川	臨1
11	14	水	1	各論（5）免疫血清検査	臨床検査医学・山田	臨1
11	21	水	1	各論（6）免疫血清 / 遺伝子検査	臨床検査医学・山田	臨1
11	28	水	1	各論（7）遺伝子検査	臨床検査医学・山田	臨1
12	5	水	1	各論（8）微生物検査（1）	臨床検査医学・柳原	臨1
12	12	水	1	各論（9）微生物検査（2）	臨床検査医学・柳原	臨1
12	19	水	1	各論（10）分子生物学	臨床検査医学・菅原	臨1
1	9	水	1	各論（11）臨床病理	病院病理・林	臨1
1	15	火	4	輸血（1）	輸血部・長井	臨1
1	16	水	1	輸血（2）	輸血部・長井	臨1

外科治療学

責任者	氏名	兼松 隆之	内線	2920
	教室	移植・消化器外科学	e-mail	kanematu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスワ-	17:00~18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Surgical Therapeutics		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外科治療学では外科総論、救急医学、臓器移植と人工臓器、および麻酔科学について学ぶ。

2. 授業内容（講義）

外科総論においては外科的侵襲と手術患者の病態生理を理解し、基本的手術手技や術前術後管理を中心に学ぶ。救急医学においては救急患者の診断と治療および救急患者に対する処置について学ぶ。臓器移植においては臓器移植の種類と移植免疫、人工臓器においては人工臓器の種類と必要条件および問題点を中心に学ぶ。麻酔科学においては麻酔法、麻酔薬および呼吸循環管理など周術期管理を中心に学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
標準外科学 10版	監修：小柳 仁	医学書院	8,925 円
Principles of Surgery, 7th ed.	Schwartz S.I.	McGraw-Hill	19,788 円
Textbook of Surgery, 17th ed	Sabiston D.C	Saunders	17,017 円
TEXT麻酔・蘇生学 2版	澄川耕二、土肥修司編	南山堂	5,500 円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行い評価する。60点以上を合格とする。

5. 教員名

腫瘍外科：永安 武、安武 亨、澤井照光、田川 努、大畠雅之、中村昭博、七島篤志

麻酔科：澄川耕二、野口隆之（大分大学医学部）、福崎 誠（長崎労災病院）、原 哲也
趙 成三、北條美能留

手術部：柴田 治

集中治療部：榎田徹次

救急部：長谷敦子、丸川征四郎（兵庫医科大学）、山下和範

心臓血管外科：江石清行

泌尿器科：錦戸雅春

移植・消化器外科：兼松隆之、廣瀬龍一郎、原口正史、江口 晋、
黒木 保、宇賀達也、高槻光寿、藤田文彦

6. 講義時間割

8:50-9:50	9:55-10:55	11:00-12:00
13:00-14:00	14:05-15:05	15:10-16:10

7. 備考（準備学習等）

解剖学、生理学、臓器機能・体液系を復習しておく。

外科治療学(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
10	4	木	1	外科と栄養(1)	(1)外科における栄養管理の意義、(2)栄養アセスメント	移植・消化器外科	黒木 保	臨1
				外科の歴史と外科医の立場	(1)外科の歴史、(2)外科医と法、(3)専門医制度	腫瘍外科	永安 武	
			2	麻酔科学(1)	全身麻酔・静脈麻酔薬・筋弛緩薬	手術部(麻酔科)	柴田 治	
10	11	木	1	外科と栄養(2)	(3)経腸栄養、(4)経静脈栄養	移植・消化器外科	黒木 保	臨1
				問診ならびに外科的診察法	(1)病歴、(2)理学的所見	腫瘍外科	永安 武	
			2	麻酔科学(2)	歴史・専門医制度・麻酔科学の領域	麻酔科	澄川耕二	
10	18	木	1	術前・術後の患者管理(1)	(1)術前の患者管理一般、(2)術前の特殊状態の評価と管理	移植・消化器外科	藤田文彦	臨1
				救急医学(1)	救急医学概論、救急医療システム	救急部	長谷敦子	
			2	麻酔科学(3)	周術期全身管理・循環管理	集中治療部(麻酔科)	槇田徹次	
10	25	木	1	術前・術後の患者管理(2)	(3)術後の患者管理一般、(4)術後合併症とその対策	移植・消化器外科	藤田文彦	臨1
				救急医学(2)	心肺蘇生法、溺水、脳死判定	救急部	長谷敦子	
			2	麻酔科学(4)	周術期全身管理・呼吸管理	麻酔科	原 哲也	
11	1	木	1	基本的な外科手術手技	(1)手術器具、(2)基本的手術操作、(3)小外科手術手技	移植・消化器外科	兼松隆之	臨1
				救急医学(3)	救急診察法及び診断、画像診断と治療への応用	救急部	長谷敦子	
			2	麻酔科学(5)	全身麻酔・吸入麻酔法	麻酔科	澄川耕二	
11	8	木	1	ショック(1)	(1)ショックの概念、(2)ショックの原因と分類、(3)ショックの病態	移植・消化器外科	宇賀達也	臨1
				損傷と創傷治癒	(1)機械的損傷、(2)非機械的損傷、(3)創傷の治癒過程、(4)創傷治癒を左右する因子、(5)創傷管理の実際	腫瘍外科	安武 亨	
			2	麻酔科学(6)	周術期全身管理・体液管理	麻酔科	澄川耕二	
11	15	木	1	ショック(2)	(4)ショックの治療、(5)ショックの合併症とショック臓器	移植・消化器外科	宇賀達也	臨1
				外科的侵襲と生体反応(1)	(1)神経内分泌系の反応、(2)循環系の反応、(3)代謝系の反応	腫瘍外科	中村昭博	
			2	麻酔科学(7)	局所麻酔薬・浸潤麻酔・伝達麻酔	手術部(麻酔科)	柴田 治	
11	29	木	1	老人外科の特徴	(1)老人外科の特徴、(2)手術適応、(3)周術期管理の特徴	移植・消化器外科	原口正史	臨1
				外科的侵襲と生体反応(2)	(4)免疫系の反応、(5)血液凝固系の反応、(6)術後の生体反応と回復過程	腫瘍外科	中村昭博	
			2	麻酔科学(8)	脊髄麻酔と硬膜外麻酔	麻酔科	趙 成三	

外科治療学(4年後期)

12	6	木	1	体液の変動と輸液	(1)正常体液分布、(2)侵襲と体液変動、(3)水・電解質異常、(4)酸塩基平衡傷害、(5)輸液療法	腫瘍外科	大畠雅之	臨1
				救急医学(4)	救急初期対応、処置、環境異常、異物、刺咬傷	救急部	山下和範	
			2	麻酔科学(9)	集中治療と急性重症病態	非常勤(麻酔科)	野口隆之	
12	13	木	1	外科と免疫(1)	(1)免疫機構と調節、(2)腫瘍免疫	腫瘍外科	田川 努	臨1
				救急医学(5)	災害医療(特別講義)	非常勤(救急部)	丸川征四郎	
			2	麻酔科学(10)	ペインクリニック・痛み診療の基礎	麻酔科	澄川耕二	
12	20	木	1	外科と免疫(2)	(3)移植免疫、(4)免疫不全と日和見感染	腫瘍外科	田川 努	臨1
				救急医学(6)	外傷(JATEC, PTECを含む)とショック、続発症	救急部	長谷敦子	
			2	麻酔科学(11)	ペインクリニック・CRPS・腰下肢痛	非常勤(麻酔科)	福崎 誠	
1	10	木	1	炎症と感染(1)	(1)炎症の概念と病態生理、(2)臨床症状と所見、(3)外科的感染症の起炎菌	移植・消化器外科	江口 晋	臨1
				血液凝固異常と輸血	(1)止血機構、(2)止血機構の傷害、(3)輸血の目的、(4)血液製剤の種類と特徴、(5)輸血法、(6)輸血の副作用と合併症	腫瘍外科	七島篤志	
			2	救急医学(7)	熱傷、化学損傷、電撃症、各科緊急、感染症、まとめ	救急部	長谷敦子	
			3	麻酔科学(12)	緩和医療	麻酔科	北條美能留	
			4	小児外科の特徴	(1)小児外科の特徴、(2)新生児・未熟児の特徴、(3)術前・術後の栄養管理	移植・消化器外科	廣瀬龍一郎	
		4	腫瘍(1)	(1)良性腫瘍と悪性腫瘍、(2)発癌メカニズム、(3)悪性腫瘍の病態	腫瘍外科	澤井照光		
1	17	木	1	炎症と感染(2)	(4)全身感染症と敗血症、(5)外科的特殊感染症、(6)治療	移植・消化器外科	江口 晋	臨1
				腫瘍(2)	(4)臨床診断と特殊検査、(5)悪性腫瘍の治療、(6)悪性腫瘍の疫学	腫瘍外科	澤井照光	
			2	移植と人工臓器	泌尿器系の移植と人工臓器	泌尿器科	錦戸雅春	
			3	移植と人工臓器	消化器系の移植と人工臓器	移植・消化器外科	高槻光寿	
				移植と人工臓器	呼吸器系の移植と人工臓器	腫瘍外科	田川 努	
			4	移植と人工臓器	循環器系の移植と人工臓器	心臓血管外科	江石清行	

医学ゼミ

責任者	氏名	下川 功	内線	2192
	教室	病理学第一（内臓機能病態病理学）	e-mail	
	オフィスワ-	月曜日、午後4時30分より5時30分（事前に電話で所在を確認すること）		

対象年次・学期	2年：前期，後期 3年：前期 4年：前期，後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Seminar for medical student		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名以内の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、2年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学部教員（保健学科を除く）

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

「医学ゼミ」平成19年度開講テーマ一覧(4年次)

(4年次前期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
生化学	2年・3年・4年前・後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室 カンファレンス室	出席、発表内容など
公衆衛生学	2年・3年・4年次前期	「論文から学ぶ公衆衛生学」	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ。	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、検討する。	木曜日5校時	公衆衛生学資料室	出席、発表・討論
免疫機能制御学分野	2年・3年・4年次前期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の講義を受けた3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集會室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
原研内科	3年次前期、4年次前期	血液学のトピックス	塚崎邦弘 宮崎泰司	血液学における基礎研究と臨床のつながりを理解する。	ウイルス発ガンと幹細胞移植・再生医療を取り上げ、最新の基礎研究結果と臨床との関連について学ぶ。論文の抄読、参考書の輪読と、それらの内容に関する議論を中心にゼミを進める。	金曜日1校時	医学部基礎視聴覚室	出席、発表の状況、レポート
感染防御	2年・3年・4年前期	2006年ノーベル賞記念講演から学ぶ医学生物学	松山俊文	英語による講演を聞くことで、生きた英語に触れるとともに、講演内容を理解する。	ノーベル賞記念財団が提供している受賞記念講演のビデオ映像と講演スライドファイル、そして用意するビデオからのトランスクリプトを用いて、Andrew Z. Fire博士、Craig C. Mello博士の記念講演を聞き、医学生物学研究に大きなインパクトを与えた二重鎖RNAによるgene silencingの発見の経緯、研究の展開を学ぶ。	金曜日1校時	感染防御セミナー室	出席状況、最後の授業を行う試験
精神神経科学	2年・3年・4年前・後期	シネマサイキアトリー	小澤寛樹	具体的にイメージしやすい精神医学の様々な現象、症状、問題を映画、テレビ映像などを通じて、理解を深め、能動的に議論することを目的とする。	精神医学の問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ、鑑賞後、疑問点を教官とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める。	水曜日17時~(全8回)	精神神経科カンファレンスルーム	出席率・レポート・討論参加度
循環機能制御学(心臓血管外科)	4年前期	世界の医学誌から知る循環器学の話題	山近史郎	世界の著名な医学誌から循環器病とそれに関連する最近の話題やトピックスに触れ、英文にも慣れ親しむ。	あらかじめ用意した種々のトピックスから週の担当学生が紹介し、内容に関する質問を他の学生達が提示、担当学生が準備のうえ次週前半に質疑応答する。	火曜日5校時	心臓血管外科医局	出席・発表・討論

(4年次後期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
解剖学第一	2・4年次後期	「老いの科学」「長寿」の科学の最前線	森 望	高齢化社会の中で老人医療の重要性が増してきている。誰もが若く生きたい。しかし、ヒトはどうして老いるのか?どのように老いるのか?アルツハイマー病などの加齢性認知障害は食い止められるか?寿命は延ばせるのか?アンチエイジングの術は?本ゼミでは「老化」や「寿命」の科学の最先端の研究の文献を手がかりに、老化の分子背景を理解するとともに、今後の老化研究と高齢者医療のありかたを考える。	老化研究のABC, "Anti-aging", "Biogerontology", "Care of elderly"等のキーワードにそって最近の研究報告やワークショップレポート等を輪読し、高齢者医療やそれに関わる基礎研究について問題点を探り、解決や改善への手だてを考え発表する。基礎老化研究のあり方を理解すると同時に、少子高齢化社会の中でどうしたら健康で豊かな社会を築けるか、自らの頭で考え、自らの言葉で語れるようにする。	金曜日1校時	第一解剖学セミナー室	出席、発表内容、質疑応答、レポート
生化学	2年・3年・4年前・後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室 カンファレンス室	出席、発表内容など
病理学第一	2年・4年次後期	老化研究の最近の流れ	下川 功	老化に関する最新の知識を理解し、英文に慣れ、親しむ。	老化に関する最近の研究の英文総説、論文、教科書の論読。	金曜日1校時	病理学第一 医局図書室	出席と授業への貢献、態度。
免疫機能制御学分野	2・3・4年次後期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の講義を受けた4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集會室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
法医学	4年次後期	異状死とは? 死者からの伝言	中園一郎	当教室で検視・解剖した症例について、死因の解明や事例の背景などを検討し、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検査記録などを参考にして最終的に症例報告としてまとめる。	金曜日5校時以降	法医学教室 セミナー室	総合的に評価する。
感染分子	2・4年次後期	ウイルス(病)研究の歴史	片峰 茂	科学情報収集方法、現代生命科学研究方法の理解、英文論文読解力の陶冶、研究へのモチベーション育成	ウイルス研究のマイルストーン的論文の読解を中心にプリオン研究の歴史を学習する	金曜日1校時	感染分子集會室	総合評価
原研分子	4年次後期	英文で読む臨床症例報告	永山雄二	英文臨床症例報告の抄読会を通じて、臨床英語に慣れ親しむ、かつ総合的な臨床力を身につける	英文医学雑誌The New England Journal of Medicineに掲載されているCase Report of the Massachusetts General HospitalやClinical Problem-Solvingなどの症例報告を用いた抄読会	金曜日1校時、ただし受講生の希望によって変更可	原研棟4階研修室	出席及び発表内容
内科学第一	4年次後期	臨床実地問題から学ぶ消化器病学	中尾一彦	国家試験、卒業試験問題の演習を行い、消化器疾患に対する理解を深める	消化器疾患の国家試験、卒業試験問題の演習を通して、診断へのアプローチ法を解説する。病態の把握が不十分な点について重点的に指導する。	金曜日5校時以降	病院9階ゼミナール室	総合評価
内科学第二	4年次後期	救命に必要な内科学	水田陽平	国家試験にも応用可能な、実践的な内科の考え方を学ぶ。	循環器、呼吸器、腎臓というバイタルオーガンを扱う2内のスタッフと共に、救命に必要な内科学に関する最新のレビューを勉強する。	後日、受講生と相談のうえ	12階外来1診	レポート
精神神経科学	2年・3年・4年前・後期	シネマサイキアトリー	小澤寛樹	具体的にイメージしやすい精神医学の様々な現象、症状、問題を映画、テレビ映像などを通じて、理解を深め、能動的に議論することを目的とする。	精神医学の問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ、鑑賞後、疑問点を教官とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める。	水曜日17時~(全8回)	精神神経科カンファレンスルーム	出席率・レポート・討論参加度
へき地病院再生支援・教育機構	4年次後期	離島へき地医療の現状と展望を考える	調 漸	日本で最も多くの離島・へき地を抱える長崎県のへき地医療の現状と未来を考える	実際に医療を支えてきた医療人のセミナーとそれに基づいた討論を中心とする。	毎週金曜日午後5時30分	へき地病院再生支援・教育機構 会議室(保健管理センター医学部分室のビルの1階)	レポートと発表会